

平成24年度公開事業評価の実施結果について（概要）

1 実施概要

（1）実施目的

区が実施する事務事業等について、有識者、区民など外部の視点により一般公開のもとでの評価を行うことで、現状と課題の区民等との共有、及び事業内容・事業手法の改善を図る機会とする。

（2）開催日時

7月29日（日）9時30分～16時50分（※評価時間1事業60分）

（3）会場

豊島清掃事務所（2階講堂）

（4）テーマ

「公共施設の運営」（※無作為抽出の区民アンケートをもとに、政策評価委員会において選定した10施設対象）

（5）評価者（評価委員）

政策評価委員会委員6名＋交流自治体職員4名 計10名

2 参加者

区民評価人：31名（※評価委員の議論を傍聴したうえで、評価を行う）

傍聴者：48名

3 アンケート結果（主な項目） ※回収数（回収率）： 区民評価人30名（97%）、傍聴者36名（75%）

（1）全体の内容について

区分	区民評価人	傍聴者
よかった	90%	79%
普通	7%	12%
よくなかった	3%	9%

（2）評価委員の議論について

区分	区民評価人	傍聴者
わかりやすい	56%	46%
普通	41%	51%
わかりにくい	3%	3%

（3）一事業あたりの評価時間について

区分	区民評価人	傍聴者
適当	67%	61%
長い	0%	3%
短い	33%	36%

（4）今後の公開事業評価の実施について

区分	区民評価人	傍聴者
実施すべき	100%	94%
実施する必要はない	0%	6%

4 主な意見、感想（公開事業評価全体に関し）

○区民評価人

（肯定的意見）

- ・勉強になった。参加してよかった。
- ・区の現状と課題がわかった。区民として参加する意義がある。
- ・もっと多くの方にこの取り組みを知ってほしい。
- ・事業仕分けの反省を生かし、工夫がみられる。
- ・無作為なので困難であろうが、来年もやりたい。
- ・事前研修があったので、評価しやすかった。
- ・コーディネーターの進行がとてもよい。

（否定的意見、問題点指摘等）

- ・あらかじめ論点を絞り、示すべき。
- ・じっくり時間をかけて評価できるとよい。
- ・区民評価人ももっと意見表明すべき。
- ・区民評価人制度は中途半端である。
- ・資料のペーパーレス化を求める。

○傍聴者

（肯定的意見）

- ・区が何を考え、どう進めようとしているのか、分かった。
- ・事業の現状だけでなく、今後の進め方という論点が明確でよかった。
- ・公共施設というテーマは、区民にわかりやすく、よかったと思う。
- ・評価委員と区民評価人それぞれの違いがあり、興味深い。
- ・区政の見える化につながるよい取り組みである。

（否定的意見、問題点指摘等）

- ・対象事業数を減らし、評価時間を長くすべき。（量より質）
- ・施設評価を短時間で行うのは無理がある。
- ・会場によって評価が違う気がする。
- ・会場は一つでよい。
- ・議論に利用者の観点があまりない気がする。
- ・区民評価人の人数が会場、時間帯によって違うのは問題。
- ・公開評価の意義を考えるなら、もう少し傍聴者がほしい。

5 事業別（施設別）評価結果

A会場				
施設名	評価委員			
	A	B	C	合計
図書館	2	2	1	5
	区民評価人			
	A	B	C	合計
	3	2	2	7

B会場						
施設名	評価委員					
	A	B	C	合計		
公営住宅	公営住宅全体	0	0	1	1	
	形態別	区営住宅 福祉住宅	1	1	0	2
		区民住宅	0	0	2	2
	区民住宅のみ	0	0	2	2	
	区民評価人					
	A	B	C	合計		
	公営住宅全体	1	4	3	8	
	形態別	区営住宅 福祉住宅	1	1	0	2
		区民住宅	0	0	2	2
	区民住宅のみ	0	0	1	1	

施設名	評価委員			
	A	B	C	合計
保育園	3	2	0	5
	区民評価人			
	A	B	C	合計
	3	3	1	7

施設名	評価委員			
	A	B	C	合計
地域区民 ひろば	0	5	0	5
	区民評価人			
	A	B	C	合計
	0	10	1	11

施設名	評価委員			
	A	B	C	合計
舞台芸術 交流 センター	2	2	1	5
	区民評価人			
	A	B	C	合計
	5	2	1	8

施設名	評価委員			
	A	B	C	合計
公園	0	3	2	5
	区民評価人			
	A	B	C	合計
	0	6	0	6

施設名	評価委員			
	A	B	C	合計
スポーツ 施設	0	3	2	5
	区民評価人			
	A	B	C	合計
	3	4	1	8

施設名	評価委員			
	A	B	C	合計
目白庭園	0	1	4	5
	区民評価人			
	A	B	C	合計
	0	4	1	5

施設名	評価委員			
	A	B	C	合計
勤労福祉 会館	1	1	3	5
	区民評価人			
	A	B	C	合計
	3	3	2	8

施設名	評価委員			
	A	B	C	合計
自転車 駐車場	4	1	0	5
	区民評価人			
	A	B	C	合計
	0	5	0	5

※評価結果がそのまま区としての最終評価となるわけではありません。

「豊島区政策評価委員会」において検討したうえで、今後の計画・予算など区政に活用・反映していきます。

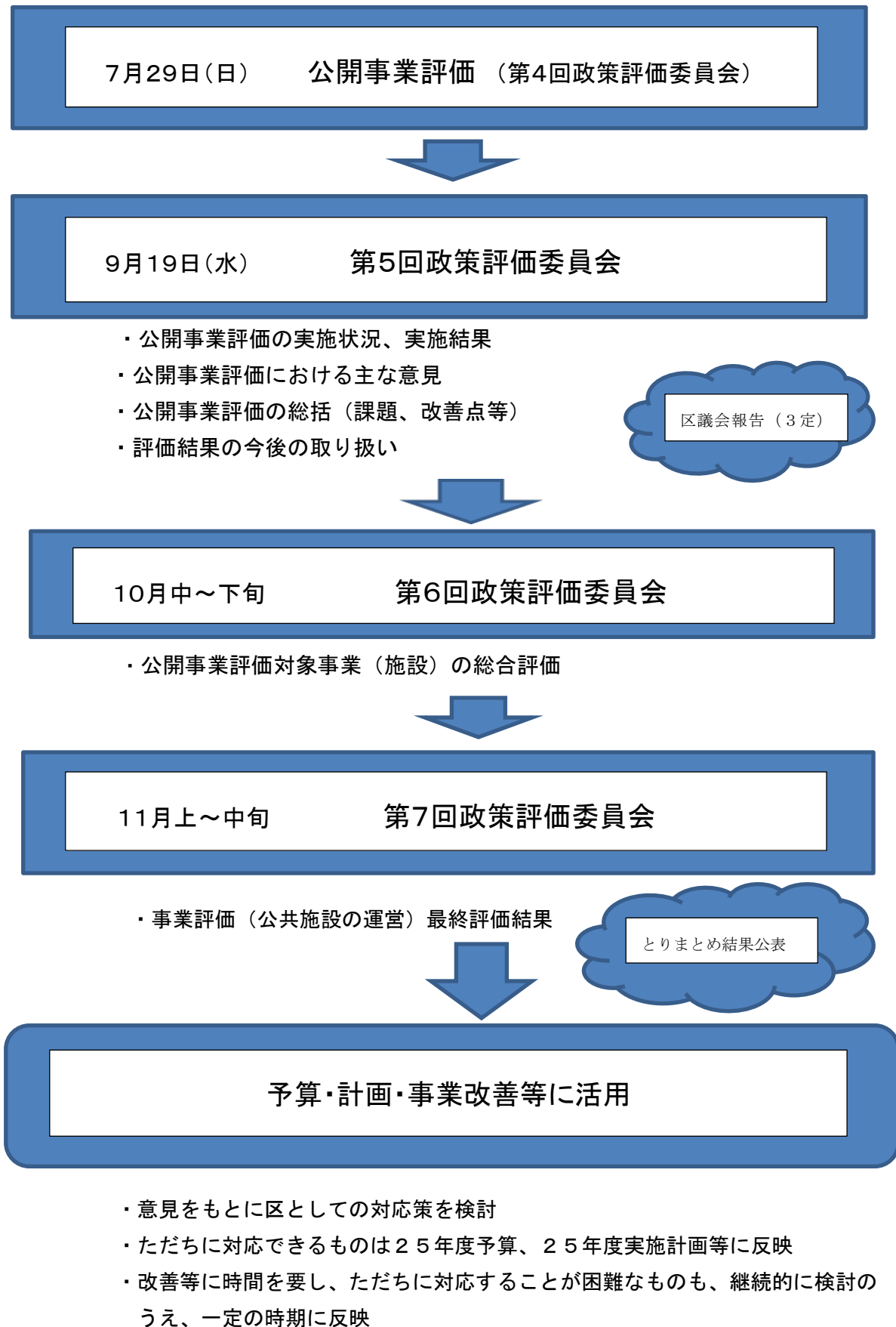
※公営住宅については、評価者によって、評価対象が分かれています。

(「公営住宅全体」「形態別(区営住宅・福祉住宅と区民住宅)」「区民住宅のみ」)

なお、評価者数は「公営住宅全体」+「形態別の合計÷2」+「区民住宅のみ」となります。(評価委員5名、区民評価人11名)

【評価区分】 A:妥当、おおむね妥当 B:要改善 C:抜本的見直し

6 公開事業評価結果の今後の取り扱い（予定）



☆政策評価委員会

○設置目的：

区が推進する政策及び区が実施する施策、事務事業等について専門的見地からの評価または具申を行うことにより、行政サービス、区政運営の改善を図る。

○所掌事項：

- ・行政評価の実施方法及び実施結果に関すること（委員会自ら行う評価含む）
- ・基本計画の進行管理及び実施計画の策定に関すること
- ・政策提言に関すること
- ・その他必要な事項

○委員：

下記評価委員（交流自治体職員除く）及び区職員（副区長、政策経営部長）

○設置日：

平成24年4月1日

☆公開事業評価 評価委員

会場	職名	政策評価委員会 職名	氏名(敬称略)	現職、所属等
A 会場	評価委員 (コーディネーター)	委員長	原田 久	立教大学法学部教授
	評価委員	委員	益田 直子	立教大学法学部特任准教授
	評価委員	委員	中西 規之	(公財)日本都市センター研究室 主任研究員
	評価委員	—	池田 庸	東京都職員 (知事本局計画調整部計画調整課 課長補佐)
	評価委員	—	新井 秀弘	秩父市職員 (市長室長)
B 会場	評価委員 (コーディネーター)	副委員長	大崎 映二	行政アドバイザー、日本経営協会専任講師
	評価委員	委員	原田 晃樹	立教大学コミュニティ福祉学部准教授
	評価委員	委員	猪岐 幸一	公認会計士
	評価委員	—	瀧澤 恵	所沢市職員 (総合政策部政策企画課主査)
	評価委員	—	唐澤 紀朗	箕輪町職員 (経営企画課長)

上記評価委員のほか、評価委員の議論を傍聴し評価を行う「区民評価人」を無作為抽出により選出した。

平成24年度 豊島区公開事業評価

～公共施設の運営～

対象事業（施設）別主な意見

豊島区政策評価委員会

豊島区 政策経営部行政経営課

本資料について

- 平成24年度公開事業評価において、評価委員及び区民評価人から示された評価結果と意見をまとめたものです。
- 意見については、評価票に記載されたもののほか、議事の中で発言されたものも含まれます。
- 趣旨を損なわない範囲で、意見の内容を修正、加筆している場合があります。

評価区分について

当日は下記のとおりで評価を行いました。

A 妥当、おおむね妥当

現在の運営方法、取り組み内容はおおむね適切である。

B 要改善

方向性は間違っていないが、運営方法、取り組み内容について改善を要する。

C 抜本的見直し

方向性を含め、現在の運営方法、取り組み内容を抜本的に見直す必要がある。

公開事業評価 施設別主な意見

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
図書館	池田委員	A	委託・指定管理の検討にあたってはメリット・デメリットを精査すべき ・指定管理者制度等の導入を検討するなら、縮減したコストや人員を重要政策に回すという視点も必要	
	新井委員	A	おおむね妥当（指定者管理制度を導入するより現行の運営方法（直接雇用・非常勤中心の体制）のほうが効果的・効率的ではないか）	
	原田久委員	B	・指定管理者制度の導入などさらなる効率性向上の検討 ・区民ニーズ調査に基づくサービス向上策（広義には今後の図書館のあり方）の検討	
	中西委員	B	・運営方法について、指定管理者制度などさまざまな選択肢を含め検討すべき ・更なるサービス向上を期待	
	益田委員	C	利用者ニーズに対応できる方策を検討すべき。	
	区民評価人	A	図書館は我々区民にとって親しみやすい施設であり、できる限り使いやすい、開放的な施設にして欲しい。	
	A	中央図書館の来館者が多いということだが、本の貸出目的でなく、勉強などを目的とした人も多いと思うので、他の館に人を流すことができれば良いのではないか。 本を貸すことだけが図書館の役割でないと思うので、貸出数にそこまでこだわらなくてもよいと思う。		
	A	適切な論点が提示され、適切な質疑が行われたと認識したうえで判断した。		

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
図書館	区民評価人	B	活字離れの流れにあるが、一方でiPad等多様な媒体で読書ができる時代ということもある。時代に則した図書館のあり方を考えてほしい。	
		B	市場調査が不十分であり、且つデータに明確な意味が不足している。非常勤の体制とは退職者の受け皿ではないかと思われる。一般的な募集でなく、第2の人生計画を仲間で創ってはいないか疑問が残る。	机が足りないのは今現在ではなく昔からのことで、なぜ今更言うのか疑問がある。職員の意識が違う所にあるのでは？
		C	現状を把握するために、インターネットや書面のアンケートが必要ではないか。指定管理に対する取りくみが甘いし、わかりづらい。補足資料には、区の都合の良い部分だけ裁せられている気がする。民間企業の現状は、もっと厳しい。図書館は必要だが、「職員を残すために必要」ではないと思う。あくまでも区民を中心とする利用者目線が欠けている気がする。	図書館本来の役割について、区・評価人のやりとりが聞きたかった。移転については、何も触れられなかったのは残念。
		C	議論している内容がごく一部の事。時間不足。これで図書館の今後の運営、管理等を決定していくのは無理。我々評価人にしても、与えられたテーマについて事前の理解をするにはもう少し時間が欲しい。実績をつくるための儀式なのか。	区側では、区民評価人に何を求めているのか。改めて確認したい。

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
保育園	原田久委員	A	<ul style="list-style-type: none"> ・都市間競争に対応するためにも一定の基盤整備は必要 ・基盤整備のコストについて民営化、受益者負担の見直し等で捻出すべき ・第三者評価や保護者アンケートなどさまざまな意見を取り入れる姿勢は評価できる。 ・公平性の観点で地理的な問題、受益者負担の問題を考えるべき。 	
	中西委員	A	限られたリソースの中でできることを最大限行っている。拡充の評価があるなら、そうしたい。	
	新井委員	A	民営化によりコストを縮減し、捻出した財源を待機児童解消のための基盤整備に振り向ける方策は適当である。引き続き努力してほしい。	
	益田委員	B	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童解消のための基盤整備に優先順位を付けながら努力している姿勢は評価できる。 ・一方で安心して預けられる保育園としての改善（病児保育の導入など）の余地がある。 	
	池田委員	B	・保育料を低く抑えることで、担税力のある世帯の定住化を促進し、自治体経営に資する政策もある。一律に受益者負担を高めることが適当とは言えないのではないか。	
	区民評価人	A	これからますます保育園の充実は必要になると思う。働く女性を後押ししてほしい。	
A		コスト削減のための民営化や、待機児童の解消の対策など行っていて、よいと思った。計画から遅れているということで、スピード上げて対応してほしい。		
A		区側の説明、評価委員との質疑から評価した。	今後の区民の年齢構成を予想すると同時に、区としてはどのような構成にしたいのかを踏まえ政策立案することが必要と考える。それにより必要となる施設の建設が浮かび上がってくるように思う。	

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
保育園	区民評価人	B	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童をなくすよう希望する。 ・公立保育園は安全・安心で評価できると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児童になると、活発化し、男性保育士が子どもたちに人気になっている。もう少し男性の保育士が増えるとよい。
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・方向性はよいのかもしれないが、保育需要への対応のスピード感が足りない気がする。 ・経済情勢もあるが、区の財政が厳しいのであれば、受益者負担の見直しを早めるべき。 ・区民全体に影響が及ぶことであり、一部署の問題ではないと思う。 ・問題意識をもって対応しているのはわかるが、区民に対する周知徹底がやはり足りない気がする。民営化等のスピード感も遅い。 	<p>人件費が減ってきているが、総体としては余り変わらない気がする。 逆に事業費は、増加しているその理由がわからない。</p>
		B	<p>問題点がしぼられているので、「図書館」の案件より自分自身も理解が得られ、また、委員の意見や話もわかりやすかった。</p>	<p>「図書館」と「保育園」を、限られた資源（財政）の配分比較で考えるなら、待機児童や病児対応の問題など、「保育園」の課題解決により財源を投入すべきと考える。情報収集の上で、現在は図書館に行かなくてもインターネットでかなりの部分が理解を得られる。</p>
		C	<p>コストが下がる、かつ且つアンケートで満足度80%なら、全て民営化の方がよい。ただし、民営化の基準がよくわからない。</p>	<p>説明（区側）が質問の内容で矛盾する回答がある。民営化の基準の説明がない。</p>

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
あうる	益田委員	A	設立間もない段階ではあるが、さまざまな事業展開を行い、新たな仕掛けを考えていることは評価できる。	
	新井委員	A	高い稼働率は評価できる。区民が何を求めているのか的確に把握したうえで事業実施、施設運営を行ってほしい。	
	中西委員	B	独創的な施設のコンセプトを生かすため、認知度のさらなる向上、発信規模の拡充を行ってほしい。	
	池田委員	B	芸術劇場など他施設との棲み分けを厳密に行うより、むしろ固定観念にとらわれない柔軟な発信の場として、他施設と競合しあいつつ相乗効果として文化芸術の質を高めてほしい。	
	原田久委員	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 条例上の目的・手段を達成する方法や成果確認の手段について検討する必要がある。 ・ 認知度を高めるとともに、区内生え抜きの舞台芸術人の発掘・育成など区民性を高めるさらなる取り組みを期待する。 	
	区民評価人	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 類似施設との差別化の中で、あうるすぽっとは豊島区の中で、外に向かっていく施設としてあっていい。 ・ 演劇そのものを発展させる場として、区民だけを主体としないでほしい。 ・ 未来文化財団のあり方は問題かもしれない。他の指定管理者にしてみたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何らかも課題があるのは仕方のないことだと思う。 ・ この場に（現場の職員がおらず）区職員のみなのが少し不思議。
		A	区民の認知度を向上させるような企画を実施したらどうか（例：当施設で年1度必ず同じ企画を実施するのはいかがか？豊島区・あうるすぽっとで必ず「これ」が行われると、区民以外の方々にも知っていただきたい。）	
A		あうるすぽっとに行ったことはないが担当課の説明を聞き、おおむね妥当と考えた。		

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
あうる	区民評価人	A	<ul style="list-style-type: none"> ・豊島区で生まれたが、芸術政策は数少ない地元の誇りである。 ・運営の方向性にはおおむね賛成だが、需要も考慮した料金設定等により区の負担は最小限にしていきたい。 ・創造・発信ということであれば、単発の公演ではなく、あうるすぽっとブランドのコンクールやショートムービーのフェスタ等の開催も希望する。魅力を高め、皆が住みたくなる街にほしい。 ・指定管理者の選定は公募を希望する。 	
		A	<ul style="list-style-type: none"> ・区民全体から見て施設の内容的理解が低いように思えるので、時には施設の見学会等を実施して、理解度の向上に努めてはどうか。 ・演目が高度なため、認知度が低いのではないかと思う。 	
		B	稼働率の高さは、評価すべき。主な事業内容のコンセプトもしっかりしており、取組は良いと思う。広報でのPR活動等、これからの認知度のレベルを上げてほしい。	
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・核となる活動が定まっていないので、活動の内容がわかりにくくなっている。 ・舞台芸術関係者にとっては関心が高いと思うが、一般の区民にとっては認知度が低い。PR宣伝がもっと必要と思う。 	
		C	<ul style="list-style-type: none"> ・目的は立派だが中身が薄く、とても政策目的、施設のミッションを達成できているとは思えない。 ・創造とか、文化とか口幅ったいことではなく。区の現実を見すえて仕事を考えて欲しい。 	

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
スポーツ	原田久委員	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育施設を考えるにあたっては、稼働率の高低だけで見るのではなく、維持管理・更新コストを区全体のコストとして考えるべき（23区の中でどうこうという問題ではないと考える） ・ 三芳グラウンドは区民の利用率を考えると見直しする必要がある。（健康増進が目的であるなら野球場を造ることに固執するのはどうか。また区が必ずしも直接供給する必要はないのではないか） 	
	池田委員	B	ニーズを満たし継続的にサービスを維持するためにはランニングコストを抑える視点が重要。受益者負担も必要。	
	新井委員	B	施設の維持に莫大な費用を要することを考慮すると、受益者負担・利用料金のあり方を真剣に考える必要がある。	
	中西委員	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツを健康増進や地域コミュニティと関連付ける必要があるのではないか。 ・ 三芳グラウンドは再考すべき 	
	益田委員	C	・ 体育・レクリエーションの普及振興のための方策が施設提供に偏っているのではないか。また利用者数と結びついていない。	
	区民評価人	A	豊島区の財政を圧迫しない様に利用料金を定めていると思われるので、妥当と考える。	
	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中高年向けの施設の充実をお願いしたい。 ・ （プール、体育館等）学校との共同利用も考えたらどうか。 		
	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区民の体育向上と健全育成のため、施設建設は必要である。 ・ 三芳グラウンドは将来的に一考すべきと思う。 		

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
スポーツ	区民評価人	B	<ul style="list-style-type: none"> ・区のスポーツ施設は、巣鴨、雑司が谷、池袋スポーツセンター等を利用しているが、都度利用（1回利用）料は便利である。 ・区民の健康増進のため、今後とも満足度調査等を実施し、意見をもとに充実を図ってほしい。 	
		B	<p>サークルで34年目を迎えるストレッチ教室（個人）だが（旧学校の体育館を現在利用）、老朽化ということで今後の会場に不安を持っている。体育館の利用は欠かせない。体育館及び教室の改善で区民の小サークルが活用できる場所を是非具体的に検討してほしい。（どこを全廃にし、どこを残すか明確にしてほしい）</p>	廃校跡地を利用した体育館、教室等の検討をお願いしたい。
		B	三芳グラウンドは一考の余地あり。他はおおむね妥当	千川小跡地にプールができるのだろうか？
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が横ばいの状況で、更なる増設は必要ない。新宿区、文京区と同等のカバー率でよいと考えるので、人口に比例した計画にしてほしい。 ・地区特性として、野球場6面の存続意義の再考を希望する。区の税金が使われるのであれば、区の人口を重要な指標としてほしい。 	個人的には、池袋スポーツセンターは活用している。
		C	<ul style="list-style-type: none"> ・大会のための利用、団体利用の率がどうなっているのか。個人の利用はどこかのジム等へ利用券を販売するなどでも補えるかと。野球場・武道場・体育館等は団体での利用が重なっていつてしまうかと思う。 ・三芳はもうすでになくなっていると認識していたので、ここでまだ存在していると知り驚いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のグラウンド（校庭）では小さいのだろうか。テニスコート・弓道場・アーチェリー等はどの程度なのか。 ・新設、更新するのであれば民間事業者に土地を提供し、設置から運営まで一体に行ってもらい、かつ区民へのサービスが充実すれば、その方がよいのでは。
		発言	<ul style="list-style-type: none"> ・一日だけ利用できることは多忙な人には便利 ・健康増進、予防医療、レクリエーションとしてもスポーツ施設は必要（特に高齢者） 	

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
勤福会館	新井委員	A	高い利用率を考えると継続的な運営が不可避であろう。大規模修繕にあたっては既存の事業の見直し（他施設との類似事業の整理等）を行うべき。	
	池田委員	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の実態に合わせ、高齢者層のニーズに即した事業展開が望まれる。 ・勤労福祉という切り口での施設運営は難しいと思われ、類似施設との役割分担を検討する必要がある。 ・現段階では勤労者以外の区民も使えることを積極的にPRすべき。 	
	原田久委員	C	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労者の文化・教養・福祉の増進にどれだけ寄与しているかが不明であるため、評価困難。 ・施設の設置目的をより効果的・効率的に果たすための代替策等を検討することなく、多額の経費を投じる改修の計画があるのはいかがなものか。 	
	中西委員	C	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労者の文化・教養・福祉の増進という設置目的と大きく乖離している。現利用者への代替措置を含め、施設のあり方を抜本的に見直すべき。 	
	益田委員	C	<ul style="list-style-type: none"> ・データがないとのことだが、データ収集を行ったうえでソフト面のニーズも把握し、ニーズに即した事業展開を図るべき。 ・財調問題（コスト問題）は施設の目的を明確にすることでスリム化を図り、解決することも可能ではないか。 	
	区民評価人	A	地域住民にとっては重要な施設なので、早急な改修が必要と考える。	
		A	勤福会館として長年に渡って有意義に利用されてきた施設であり、今後も更に活用されると思われる。	

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
勤福会館	区民評価人	A	<ul style="list-style-type: none"> ・所管が生活産業課というのは不思議である。指定管理になっている施設に関しては指定管理課とか施設課とかもう少し分かりやすいほうがよいのでは。 ・28年も勤労福祉会館を名乗っているにもかかわらず、現状に合っていないと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料館が出た後はどうするのか。地下の体育施設も改修後も入るのか。今のところエポック10はこの3Fをワンフロアで使用する以外に行くところがない。（区民センター・新庁舎にも入る予定がない）。それらが決めることが一番である。もしなくなれば困る。 ・清掃の会社を変えているが、その理由は何だったのだろうか。
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用の多さは、利便性の高さにもよるところが大きい。 ・地域サークル等で本施設の利用者の話をよく聞く。きんぷく祭りも長い間継続されており、子どもたちにも親しまれている。 ・改修の件が課題である。 	
		B	<p>当会館を利用した事がなく、今後の参考とさせていただきたい。（体育室の利用等もっと知りやすく）利用率の向上を検討してほしい。</p>	
		B	<p>おおむね妥当だが、取り組み内容は千差万別で、一部感心しないものもある。</p>	
		C	<ul style="list-style-type: none"> ・名称と中身が違うのに勤労福祉会館と詐称しているのはおかしい。 ・委員の質問に同感。貸館だからよいというわけでもない。老人の利用が多いので存続というのもおかしい。 ・郷土資料館などは、中身がなさすぎるので考え直すべき。 	
		C	<ul style="list-style-type: none"> ・他の文化施設・スポーツ施設において、吸収可能な活動ではないだろうか。勤労者の1人としてそう考える。 ・大規模改修の必要性はあるのか、勤労者としての利用率を考慮し、既存施設への移転（縮小）の再考の必要性を感じる。 	

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
勤福会館	区民評価人	発言	建物としての勤労福祉会館は、今日議論されている勤労福祉会館以外の施設（郷土資料館、男女平等推進センター等）も入っている。全体で評価することが必要ではないか。	
		発言	今の使われ方には賛成するが、設置目的があつてのことであり、財調があるからといった設置設計とは別の理由で運営がなされる行為は民間からは違和感がある。 ・勤労者のためということで予算が組まれているのなら、そのお金が他の目的に使われることはおかしいのではないか	

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等	
公営住宅	大崎委員	C	政策目的との関連で施策を見直しする時期にさしかかっている。区民住宅のオーナーと一般事業者の公平性についても問題である。		
	猪岐委員	C	(区民住宅)時代のニーズに合っていない。他の施策のコストを回すほうが効果的		
	原田晃委員	C	いずれも政策目的に照らした家賃補助か定住促進策が必要。		
	瀧澤委員	C	抜本の見直しに際し、都と区の役割分担の明確化も求められる。		
	唐澤委員	C	(区民住宅)方針変更にあたっては、入居者・区民に対し方向性を示し、理解を行うことが必要。		
	区民評価人	A	(記載なし)		
		B	・リフォーム費用のオーナーへのあっせん。(古いこと等が入居率低下の原因であれば) ・区民住宅の宣伝、PRの強化。	区民住宅周辺の賃貸住宅の入居率はどのくらいか？民間も低いのであれば、そもそも入居率を上げるのは難しいのではないか。	
		B	区民住宅は区としては残して欲しい。一般区民が何かあった場合(災害等も含む)必要であり、できる範囲で細やかな配慮をすれば、区民も借りる人が増えると思う。		
		B	・住宅利用者・住宅オーナーの意見聴取がなく、行政例の方針追認の感が強い。 ・委員の評価結果と根拠をA4・2枚、事業側の対応意見をA4・2枚にまとめて区民評価人に提示し、上記意見をもとに委員と事業側との意見交換を聴きたい。	豊島区の基本計画、他の施策との設置関係を示すと分かり易い	

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
公営住宅	区民評価人	B	入居利点が少ないと思われる区民住宅の問題はもっと深く検討して活用メリットの追求を要す。	区民住宅のオーナーとの契約その他の条件等気になった。
		C	その時代に合った住宅施策を実施してほしい。子育て世代が住みやすい、住宅や地域を目指してほしい。	
		C	間取りも作りも古くなっているのに家賃は3.5%ずつ上がるのなら、入居者の立場としては、他の住宅に移り住むと思う。1Fも10Fも北側も南側も同じ家賃は、不公平だと思う。公平性に欠けている気がする。家賃補助というかたちも考えた方が良いと思う。	入居者のリフォームは不可能だと思うが、10年過ぎて古くなった場合、床や壁の張り替えはしているのだろうか
		C	区民住宅は20年で期間が切れるところから、民間住宅に替えた方が良いと思う。	区営住宅・福祉住宅も老朽化した所ばかりと思われ、取組内容を見直すべき。
		C	<ul style="list-style-type: none"> ・区営住宅、福祉住宅については募集が多く、入居すること自体が難しいという現状であるので、民間の賃貸住宅入居者に対しての家賃保障などにより、事業を拡大してほしい。 ・区民住宅については、事業開始当初の目的が現在の状況に沿わず、入居倍率も1倍を切っているなど、需要もそこまであるものではないので、別の事業にお金を使ってほしい。 	
		C	<ul style="list-style-type: none"> ・人口増、定住化の当初の政策目的から現状は状況が変わってきていると理解（民間の高層マンションを背景にそちらに移るなど）。それを踏まえると、「区民住宅」の存在は必要ないと思われる。 ・但し、「必要ない」とした場合、既存の住宅をどうするのかは別途議論すべき。例えば、制度的問題があるにせよ「区営」「福祉」に入れられない方の入居を条件つきでも認めてもらうようにするとか？国に働きかける。もしくは、「壊した」後の使い道をどうするかなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ・政策転換をする場合の、区内への周知の仕方には別途議論が必要。マンションオーナー・既に住んでいる方の理解を得るなどの必要があるため。

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
公営住宅	区民評価人	C	<ul style="list-style-type: none"> 市場の変化が激しい時代が続く確度が高いことから、即座に運営体制を見直し、今後の導入も柔軟性ある方式（切替可能な方式）を選択し、今後の住民も時代に対応できる内容にしていくべきと考える。方式提案を待つ企業、考える企業も増えている。 	区営、福祉も同様であり。一般的に妥当な倍率となる方式へ検討すべきと考える。

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
区民 ひろば	大崎委員	B	利用者の固定化への対応、地域の特性に応じた運営等が必要	
	猪岐委員	B	運営の効果の検証にあたっては、単に利用者の多寡だけでなく、新規利用の促進の観点が必要。	
	原田晃委員	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会として自治活動や地域のネットワークに係る機能に対してコストを支払えるようにすべき（ex. 包括補助金を交付し、「まちづくり計画」等の策定・実施によって確認）。協議についてのコーディネートの人件費などを考慮すべき。地域活動やネットワークについての評価も必要。 ・館の運営の委託については、多様な団体に門戸を開放すべき。 	
	瀧澤委員	B	将来的に、運営者の固定化を避けるための仕組みも考えた方がよいのではないかと。	
	唐澤委員	B	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方法については、公の施設であることを充分理解した団体であることが必要。画一的である必要は？行政の関与の線引検討。 ・取組内容については、独自性のある展開を望む。 	
	区民評価人	B	特定の人だけが運営に携わるのではなく、現時点では関心の低い人をどう巻きこむかが大事だと思う。今日の区民評価人のように無作為にどんどん地域活動への参加をお願いしてみるような事業ができないものか。	<p>子どもを持って初めて区民ひろばを利用したが、同世代の人との関わりはあっても多世代交流は特になかったし、お互いが特に望んでいなかったという印象である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもをちょっとの間あやしてくれる上の世代の人と顔見知りになれば嬉しいので、世代間の取り組みはもっと必要だと思う。

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
区民 ひろば	区民評価人	B	<ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会が独占的で優位的にならないような評価制度が必要だと思う。 ・個人的には一度も利用したことがなく、もっとPRや魅力ある事業を拡大してほしい。地域コミュニティに参加している感じがしない。 	
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・すべて地域による自主運営は反対。やはり主がいて、特定の人ばかりが利用して、新規利用者は入りづらい。区の職員がいないのは不安。 ・原田委員の指摘どおり自分もNPO法人に対しての不安はかなりある。学童保育のように、安心できる職員が何人かいると安心して利用できる気がする。 	現在2歳と6歳の孫を育てているが、区民ひろばは利用しづらい。主がいて場所決めをされてしまう事もたびたびあり、今は行っていない。昔の児童館の時は子どもを連れて遊びに行っていた。
		B	老朽化対応の大規模改修工事にかかる費用はどうしていくのか、という点からみたら、すべてを運営協議会とかNPOに渡したらどうか。改善した方が良い。	上池ひろばでは子育て(児童館)と高齢者との入口が別なので、なかなか世代を超えた交流の場にはなっていない。現在の運営方法を見直すべき。
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・このような討議の場があるのはラッキーであるが、役所の固まった議論ばかりだったと思う。利用者の人々の希望等々の意見を集約して、(楽しい場所にする。そこに行けば楽しい催しが多い等が希望)幅広い活動を期待している。ただし運営管理はもちろん役所がしっかりまとめて責任持って守ってほしい。それでこそ行政のプロを言えるのではないか。 	
		B	利用者数が増えていくことは良いことであるが、地域区民ひろばでどのような課題・目的に対して取り組み、結果どのようにそれらが解決されたかということに対して、注力して行ってほしい。	世代を超えた交流を目的とした場合、若年層の利用が薄いと思うので、目的を含めてどうするかを考えてほしい

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
区民 ひろば	区民評価人	B	<ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会の運営メンバーは、限定・固定を回避すべき。NPO化はむしろ、固定化を促進してしまう傾向が強い。 ・施設利用料は、一部を負担してでも利用したくなる設備でないと本来の主旨を果たせないのではないか。 ・大タイトルの世代を超えた交流の場を、時代に合わせ名称を変え、自ら参加提示ができ、多くの世代が関心を持てるひろばを検討してほしい。 	運営協議会改善の場などあれば、参加してみたい。民間企業での経験と視点からも。
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人に一切をまかせることに固執せず、業務委託とは何かを人件費削減等ばかりでなくあらゆる角度から再考すべき。 ・多くのNPO法人が関与すると主体がどこにいくのか混乱するのではないか。 	
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・豊島区独自の施設を持つことの背景が説明されてない。このため、事業の有効性・効率性に係る議論が不十分。 ・利用実態(利用者の固定化)に関する評価委員の質問に対する事業担当者の説明不十分 ・現住民としては、「区民ひろば」の話題は聞いたことがない。 ・「セーフコミュニティ」としては、広域性・共通性・同質性が求められるのでないか？特に災害時の応急対応、帰宅困難者への対応措置も同質性、共通性が求められる。 ・利用者の満足度調査がなく、事業側の論理のみ目に付く。 	
		B	運営協議会の存在すら区民に理解されているとは思えず、特定の区民しか活用していないのではないか。自分は掲示板等で時々興味を示すことはあるが、一度も参加していない。	<ul style="list-style-type: none"> ・内容の主旨、意味がよくわかった。 ・区の運営が理解されていない。

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
区民ひろば	区民評価人	C	<ul style="list-style-type: none"> ・議論を聞き「区民ひろば」の絶対的な必要性が感じられない。一方で、区民が何か打ち合わせをやろうという時に、無料で使える場所があるのはありがたいことである。 ・財政が厳しい折、極論であるが「区民ひろば」は廃止も含めて抜本的にあり方を見直した方がよい ・数を絞って残す場合でも、例えば、この酷暑の折、高齢者が集まって涼める「ステーション」とするなど存在の目的をアピールできるようにすべき。現状では漠然として必要性が見えない。 	NPOを強調する、セーフコミュニティを強調するならば、それらを担当する行政部署と統合も検討してはどうか。

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
公園	猪岐委員	B	地元又は利用者のニーズの汲み取りに消極的な感がある。	
	原田晃委員	B	<ul style="list-style-type: none"> ・公園ごとの特性やニーズに応じた活用についてもっと踏みこんだ検討を行うべき ・公園の活用や維持管理について、直営を軸としつつも、地域団体・障害者(当事者)団体・NPOなど、地域を支えていただける団体に対し適切なコストで委託し、持続的に事業を担ってもらう仕組みをつくる必要がある。 →地域貢献型団体支援のモデル事業にできないか？	
	瀧澤委員	B	安心・安全の水準を維持するには直営も必要だが、委託できる業務をもう少し検討してもよいのでは。	
	大崎委員	C	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理水準の維持に課題あり。 ・何らかの新たな取組み、仕組みが必要。 	
	唐澤委員	C	公園の設置は必要であるが、防災・福祉・まちづくりほか土木部以外のセクションからの意見をもう少し取り入れたらと思う。今後の公園管理のコンセプトをもう少し持っていた方がよい(町会・地域との協働など)。	
	区民評価人		B	原田委員の意見に同意する。細々としたことは地域(町会)にお願いするという事。
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の側に住んでいる人を考えると、ルールを守らない(特に若年の人達)がいることは毎日のことであり耐えがたいのではないかと。行政として適切な対応を望む。 ・小さな公園(3ヶ所もある所等)は少し考えた方がよいと思う。 	

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
公園	区民評価人	B	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の設置場所に応じた整備、管理の方法について一層の工夫をする必要がある。 ・木陰・東屋の設置は望ましいが、ホームレスとの関係では逆効果も予想され、管理に工夫が必要。 ・ドッグランの設置など、優先順位の高低について区の見解を明確に。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ箱の撤去については、不法投棄の現状を考えた場合、目先のコスト削減だけで判断すべきではない。 ・キャッチボール場では扉のないものもあり夜間使用の制限・管理を希望する。
		B	<p>利用管理等に工夫が必要。有償ボランティア、シルバー人材センターの利用によりコストが縮小できるとよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どこの施設もユニバーサルデザインが必要かと思われる。 ・板橋の「交通公園」のような教育型施設も欲しい。
		B	<p>地域性を重くみるべき。防災対策も必要だが、我が町には公園がなく隣の町で独占している感じである。</p>	
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の有効活用の観点からは利用実態の分析が重要であり、多忙であっても他の業務より優先すべきと考える。 ・環境面を改良しながら、多世代の方が自然と集う場となるよう、企画してほしい。 ・人員も増やし、改革することで、大きな社会的メリットにつながる重要施設と考える。 	

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
目白庭園	原田晃委員	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理部局は現状のままでもソフト面は主に文化部門で対応すべき。 ・ 区民（特に若い世代）の文化・教育的な周知、活用方途について検討してほしい ・ 指定管理にあたっては、上記の要件を加味してほしい 	
	大崎委員	C	目的を明確にする必要がある。文化施設であるか、公園であるかによって、利活用が変わる。	
	猪岐委員	C	さまざまな制約がある中で運用していることは理解できる。ただし、相当額の税が投入されている訳であるから、地元の理解も含め、ある程度外部の人を受け入れる雰囲気であれば閉鎖する可能性もあるくらいの認識を持つべきである。	
	瀧澤委員	C	抹茶サービスなど何らかの工夫を行い、より多くの人に親しまれる施設にしてほしい。	
	唐澤委員	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区として今後どこを目指すのか（公園、文化、生涯学習…）を詰めるべき。 ・ 利用拡大（茶室等の検討及びPR）※地元との調整・理解を含め 	
	区民評価人	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大崎コーディネーターの「PRを強化したらどうか」、瀧澤委員の「お茶を飲める様にしたら」という意見に賛成。パンフレットを見ると和風庭園として魅力が高められる施設だと思う。 	

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
目白庭園	区民評価人	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自分は大塚に住んでいるが、近所の友人たちは「目白庭園は聞いた事があるが、どこにあるか知らない」と言う。もっとPRをすべきと思う。 ・受付の人がランニングする人の一時休憩所にしてますと笑っていた。自分が行ったときは、ほかに誰もいなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先日目白庭園へ行ったが、PRが少なく道順の（例えば）立て札もなく、二・三人の人に聞きながら辿り着いた。 ・記帳もなく池もあまりきれいではなかった。区でもう少し目を光らせていただきたい。
		B	<p>いろいろな制約の中、維持費の確保は難しいと思われる。受益者負担の割合が非常に低いことが問題点か。</p>	H22年度の受益者負担金が出ているのは何故か？
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に見て来て、普段、イベントや貸切り利用がない時は、開放又は、少額の有料利用ができるとよい。 ・園内の樹木管理は良いが、園外への樹木のはみ出しが多い（特に高い樹木）。一部交通表示板など見にくかった。 	
		C	<ul style="list-style-type: none"> ・条件はあることを差し引いても、集客性に欠ける。 ・文化施設として重要な点もあるが、公園としての管理は無駄な経費もかかる。 ・PRというより、不便なところである。総合的に検討すべき。 	
		発言	<ul style="list-style-type: none"> ・先日の暑い日に現地に行ったが、車いすの方が途中の飛び石で、引き揚げてくる様子を見た。障害者の方も利用できるようバリアフリーに配慮してほしい。 ・暑い日等の休憩場所として、（予約が入っていない日でもよいから）赤鳥庵を利用できるようにしてほしい。 	

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
自転車駐車場	大崎委員	A	少ないコストで実績が上がっている。効率的に運営されていると考えられる。今後シルバーの指定管理、レンタサイクルなどさまざまな検討を期待する。	
	原田晃委員	A	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場管理及びパトロール等については、一律に指定管理というよりは、公益法人・NPO・地域団体・当事者団体にも門戸を拡げ、団体支援や雇用の側面にも力を入れてほしい。 ・現場の業務の多くは外注可能だと思うが、放置対策や政策的な委託をマネジメントする必要から、行政の一定の関与は外せないと思う。 	
	瀧澤委員	A	管理主体（委託か、指定管理か）の検討が将来的には必要かもしれないが、現状は適切に管理されていると考える。	
	唐澤委員	A	<p>シルバー人材センターの取り扱いを含め公平公正な方法での指定管理・業務委託を検討すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車対策については、引き続き努力を期待する。 	
	猪岐委員	B	短時間の無料枠は放置自転車対策としては理解できる。一方、経済的には短時間利用の方が割高になるのが当然である。放置自転車に対する扱いをより厳しくする等の検討をすべき。安易な無料の設定には疑問がある。	
	区民評価人	B	<p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営形態を指定管理・委託と分けている。 ・無料の時間設定 ・撤去した自転車を返す時の手数料 ・区民・区外の利用料が同じでよいか？ 	

	評価者名	評価	評価理由、意見	議論で触れなかった点への自由意見等
自転車駐車場	区民評価人	B	<ul style="list-style-type: none"> ・撤去自転車返還手数料を軽減したほうが、取りに行く人が多くなり、財政負担も軽減されるのではと考える。 ・議論を聞き区としても良く考えていると思った。色々な人がいるから大変だなと感じた。 	
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・料金設定等が他区との比較に依存しすぎてはいないか ・地下街との直結他、少し離れた場所の利用は可能だろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・区の自転車置場の近隣、特に駅周辺の民間駐輪場での駐輪指導を共同して強化すべき。 ・短時間利用者の利用率が低いのではないかと？地区ごとのフリーパスは作れないのか。（駅以外の施設での駐輪場は各施設ごとの管理だが）
		B	撤去費用に多額の費用がかかるのは、今後も検討が必要だと思う。まだ自転車置場が少ないと思う。（特に区役所、駅周辺など）	
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい問題だが受益者負担をもっと重くすべきである。 ・大変苦勞されているようだが、対策をオープンにして検討してもらいたい。豊島区として大きな問題であり、他からも参考になるよう解決してほしい。 	

※公営住宅（B-1）の「評価」は、分かれている場合については区民住宅のもの